

長 坂

文化の華の咲き薫る

平戸市立生月中学校
学校だより 第10号
(令和4年 9月)
文責 堀江 泰賢

【生徒信条】『今日よりは 幼心を打ち捨てて 人となりにし 道を踏めかし』

コロナ禍の中、3回目の「実りの秋」を迎えて ～ 令和4年度 第2学期のスタート ～

42日間の夏休みが終わり、本日、第2学期がスタートしました。

長引くコロナ禍の中ではありますが、2学期は、「実りの秋」という言葉のとおり、学習活動に最適の時期であり、授業や学校行事、部活動などの諸活動を通じて、子ども達が心身ともに大きく成長する時です。

中学校では、今学期も「出番・役割・承認」を重視し、生徒一人一人の頑張りに寄り添い、その成長を支援していきます。

今学期も、「自主」・「自立」・「自律」の三つの力を働かせ、それぞれの目標の実現に向かって、大きく成長してくれることを期待しています。

保護者や地域の皆様には、本校の教育活動へのご理解とご協力・ご支援を、よろしくお願い致します。



ふるさとHIRADOの発展のために ～ 生徒会交流会・ふるさとプロジェクト会議 ～



8月4日(木)、「生徒会交流会」と「ふるさとプロジェクト会議」が開催されました。交流会では、市内各中学校の生徒会の代表が、各学校での活動を紹介しました。また、今年度も『ふるさとHIRADOの発展のために みんなで考えよう! 動き出そう!』をテーマに、ふるさとプロジェクト会議が開催され、子どもの視点からの提言・意見交換が行われました。

本校では、生徒会本部役員全員で、活動紹介や他校の提言への意見発表の準備を行うとともに、当日は、代表の4人の生徒が交流会の司会・進行や意見発表の大役を見事に果たしました。

代表の生徒はもちろん、生徒会本部役員の皆さん、よく頑張りました。お疲れ様でした。

『微力だけど、無力じゃない!』 ～ 令和4年度 平和集会「高校生平和大使を迎えて」 ～

8月9日(火)、新型コロナと熱中症対策のためリモート形式で、今年度の平和集会・平和学習が行われました。今年度は、『第24代 高校生平和大使 吉井伶奈さん』を講師にお迎えし、高校生平和大使の活動内容や、平和大使に応募したきっかけ、活動を通じて学んだこと、中学生へのメッセージ等、資料をもとにお話を頂きました。年齢が近い高校生の講師のお話ということもあり、「無関心をなくす」、「過去を学ぶことは未来を考えること」、「自ら積極的に行動を起こすこと」、「微力だけど無力じゃない」などのお話を、生徒達はたいへん興味深く聞いていました。この経験は、普段の自分の生活を振り返り、今後の生き方を考える絶好の機会になったと思います。

将来、生徒の皆さんの中から「高校生平和大使」として活動する人が出てくれることを期待しています。



生月中から長崎県の代表として ～ 九州・全国中総体、空手道の全国大会に出場しました。 ～

県中総体で好成績を収めた、空手道の男子団体と女子団体、塚本晃己くん、相撲の田淵龍馬くんは、夏休み中に行われた九州大会や全国大会に、長崎県の代表として出場しました。残念ながら上位入賞はなりませんでした。それぞれ全力で競技に参加し、持てる力をいかに発揮してくれました。



今回の経験が、今後の部活動や学校生活に生かされることを期待しています。お疲れ様でした。